



## 趣 旨

少子高齢社会の到来等により、人材の需給逼迫が顕在化しつつある中、持続的成長に必要な働き方改革やダイバーシティ実現のための環境整備や意識改革が喫緊の課題になっています。

このような中、政府は働き方改革を法制化して進めることとしており、長時間労働の解消、非正規と正社員の格差是正、高齢者の就労促進などに対する取り組みが企業に求められることとなります。

加えて、AIやIoTといった新技術が登場し、新たな視点から生産性向上に寄与していく可能性に大きな期待が集まっています。

しかし、技術進展が進む中であっても、あくまで主役は人であり、人を基軸としたイノベーションが、持続的な成長、生産性向上のために一段と重要になってきています。

そのためには、生産性向上に寄与する働き方改革や、多様な人材が能力を十分に発揮できる環境づくりが必要不可欠であります。

そこで、本年度の中部生産性会議では、「待ったなし！働き方改革と多様な人材の活躍促進」～AI等技術革新と人材不足が深刻化する中で～をテーマとして、労使を取り巻く様々な背景、テーマ、課題、先進取り組み事例を共有し、経営層から人事、労働組合の方等、様々な立場の関係者が一堂に集い、生産性向上について考える場として実施いたします。

一般財団法人 中部生産性本部

会 長 小 倉 忠

(株)ノリタケカンパニーリミテド 代表取締役社長

中部地方労働組合生産性会議

議 長 西 野 勝 義

(トヨタ自動車労組 執行委員長)

## 1 日目 9月11日(火) 13:30～16:50

### 開会挨拶

13:30～13:40

一般財団法人中部生産性本部

会 長 小 倉 忠

(株)ノリタケカンパニーリミテド 代表取締役社長

### 講演 1

13:40～14:50

## 「燃える目標で育つ現場」

～20年来の働き方改革の実践を交え～

キヤノン電子(株) 代表取締役社長 酒巻 久氏

多くの企業で取り組む働き方改革。残業撲滅に向けて、時間制限を行って退社を促す企業が増えてきた。だが生産性を向上する取り組みを行わないため、仕事をやり残したまま退社してしまうことも多いと言われている。このような中、キヤノン電子の酒巻氏は、社長就任以来20年来に亘り、働き方や社員の意識改革を推し進め、同社を利益率10%超の優良企業へと変貌させた。今回は、同社を牽引する酒巻氏より、いかに働き方改革を定着させるべきか、実践事例を交えつつお伺いする。

### 講演 2

15:10～16:50

## 「AI時代；経済、企業、働き方はこうなる」

～これからの仕事、消える仕事～

プロノイア・グループ(株) 代表取締役  
モティファイ(株) 取締役

ピョートル・フェリクス・グチバチ氏

(元Google リーダーシップ開発スペシャリスト)

(『世界一速く結果を出す人は、なぜ、メールを使わないのか』の著者)

人口減少、グローバル化、産業のデジタル化が進展する中、企業にはダイバーシティ経営など、これまでの価値観にとらわれない取り組みが求められている。元Google人材開発担当で現在は人事ソフトベンチャーのモティファイなどを経営するピョートル・フェリクス・グチバチ氏より、経済や経営の今後の方向性、人材や組織の“あるべき姿”と、AI時代における働き方、これからの仕事についてお伺いする。

10:30~11:40

分科会1

1 - A 「生産性向上とワーク・ライフ・バランスの両立」

～好循環・相乗効果を生み出す働き方改革～

キヤノン(株) 人事部 人事第二課長 高井宏和氏

キヤノンでは、経営環境が激変する中においても企業が成長していくために、生産性の向上とワーク・ライフ・バランスの好循環・相乗効果によって、所定労働時間内で最大の成果を出し、終業後には私生活の充実を図ることが大切であると考えている。今回は、部門を越えて好事例を水平展開する「生産性ハンドブック」の発行や、働き方改革ホームページの開設、働き方改革を通じて学び方改革へとつなげる具体的な取り組みについてお伺いする。

1 - B 「場所に捉われない働き方の実現に向けて」

～Happy8活動を通じた在宅勤務制度の推進～

日産自動車(株) ダイバーシティ・開発・推進部 白井恵里香氏

1999年のルノーとの協業開始以降、ダイバーシティを積極的に推進している日産自動車では、多様な従業員がいきいきと働けるよう、いち早く「働き方改革」にも取り組み、2015年に「Happy8」を開始した。全従業員が一日8時間の業務時間を意識して働こう、というこの取り組みは、スーパーフレックス勤務や在宅勤務と合わせて従業員の生活に根付いている。今回は、その浸透の背景や活用の実態についてお伺いする。

昼食

12:40~13:50

分科会2

2 - A 「65歳定年延長の理想と現実」

～キャリアの合意による価値ある職場作り～

オリックス(株) グループ人事・総務本部 副本部長兼総務部長 直井厚郎氏

2013年施行の改正高齢者雇用安定法により、企業は2025年までに希望者全員を65歳まで雇用することが義務づけられた。経験豊富な60代の人材を有効活用できれば、将来予測される人材不足にも対応できるが、意欲を持って活躍してもらえるような処遇を必ずしも保証できない為、定年延長に踏み切れないという企業も多い。このような中、オリックスグループは、2014年に他社に先駆けて65歳の定年延長を導入した。今回は、制度設計時の理想と、導入後4年を経過した今の現実と、新に見えてきた課題についてお伺いする。

2 - B 「ダイバーシティの理想と現実」

～女性の活躍推進と外国人正社員の活躍～

(株)ファミリーマート 管理本部 ダイバーシティ推進部 部長 中村幸恵氏

ファミリーマートは、ダイバーシティの遅れを取り戻すべく、急ピッチで取り組みを進めている。経営陣で構成するダイバーシティ推進委員会を発足させ、トップダウンとボトムアップの双方から取り組み、女性の意識変化、時短SVの誕生、女性管理職登用等において成果を上げてきている。また、国籍を問わないオープンな採用を行っており、SVをはじめ、本社正社員のスタッフとして、100人以上の外国人が活躍している。今回はこれら多様な社員が活躍する為のダイバーシティの取り組みについてお伺いする。

14:10~15:20

分科会3

3 - A 「同一労働・同一賃金に関する企業対応」

～労働契約法20条に関する最高裁判例を踏まえ～

湊美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士 内田恵美氏

働き方改革の一環として、非正規社員(有期雇用労働者、パート労働者、派遣労働者)と正規社員との間の均等・均衡待遇の確保を図ろうとする「同一労働・同一賃金」の改革が進められている。ただ、企業内では一般職と総合職と分かれているに関わらず、同じ様な業務をしている場合もあり、非正規社員と正規社員に留まらず、均等・均衡待遇の確保は幅広い視点から対応していくことが重要になってきている。今回は、2018年6月に労働契約法20条に関して最高裁から示される予定の判決を踏まえ、均等・均衡待遇への企業対応のポイントについてお伺いする。

3 - B 「先行企業に見るRPA導入の成果、悩み、解決策」

～ロボットと共に生きる働き方改革～

アビームコンサルティング(株) 戦略ビジネスユニット 執行役員 プリンシパル 安部慶喜氏

アビームコンサルティングは、数多くの企業に対してRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の導入支援を行っており、経営改革や業務改革における数多くの実績を基に、RPAの効果を引き出すためのトータルなソリューションを用意している。RPAの導入に当たっては、短期的な業務効率化だけではなく、長期的な成長戦略、組織風土やカルチャーの将来像などを捉えた広い視野が求められている中、RPA導入の先行企業の事例を交えてお伺いする。

特別講演 15:40~17:00

「人生を再選択する 幸せになる勇気」

～誰もが幸せに生きるためにすべき人生最大の選択とは何か～

哲学者 岸見一郎氏

(ベストセラー『嫌われる勇気』の著者・アドラー心理学の第一人者)

人間にとって幸せになるとはどういうことか。人は誰もが幸せになるために生きているのに、実際に幸福を感じられないのはなぜか。アドラー哲学を実践することは、決して簡単なことではなく、自分自身の弱さから逃げ出さず、ほんとうの「自立」とほんとうの「愛」に向き合っていくかなくてはなりません。本講演は、生き方、考え方を変えたいと思っている皆さんにとって、自分にだけ目を向けるのではなく、他者に関心を持ち、他者との関わりの中で幸せになるための実践的な指針を明らかにします。

閉会挨拶

17:00~17:10

中部地方労働組合生産性会議

議長

西野勝義

(トヨタ自動車労組 執行委員長)

## 講師紹介

### 講演 1

1日目 9月11日(火) (13:40~14:50)



酒巻 久氏 キヤノン電子(株) 代表取締役社長

1967年1月 キヤノン(株)入社  
1987年1月 同社 システム事業部長  
1989年3月 同社 取締役システム事業本部長 兼 ソフトウェア事業推進本部長  
1991年2月 同社 取締役総合企画担当 兼 ソフト事業推進本部長  
1992年5月 同社 取締役生産担当 兼 環境保証担当 兼 生産本部長  
1996年3月 同社 常務取締役生産本部長、キヤノン電子(株) 監査役  
1999年3月 キヤノン電子(株) 代表取締役社長(現在)

### 講演 2

1日目 9月11日(火) (15:10~16:50)



ビートル・フェイクス・グチバチ 氏 プロノイア・グループ(株) 代表取締役  
モティファイ(株) 取締役

2000年に来日。ベルリッツ、モルガン・スタンレーを経て、2011年Googleに入社。アジアパシフィックにおけるピープルディベロップメント、2014年からグローバルでのラーニング・ストラテジーに携わり、人材育成と組織開発、リーダーシップ開発などの分野で活躍。2015年に独立して現職。『0秒リーダーシップ』『世界一速く結果を出す人は、なぜ、メールを使わないのか グーグルの個人・チームで成果を上げる方法』『NEW ELITE』『Google流 疲れない働き方』『日本人が知らない会議の鉄則』著者。

### 分科会 1

2日目 9月12日(水) (10:30~11:40)

#### 1 - A



高井 宏和氏 キヤノン(株) 人事本部 人事部 人事第二課長

2002年4月キヤノン(株)入社。生産管理部門を経験し、2005年より人事部門へ配属。2009年より人事担当として中国生産会社に出向、2015年より現職場にて働き方改革を推進。

#### 1 - B



白井 恵里香氏 日産自動車(株) ダイバーシティディベロップメントオフィス室長

東京大学教養学部卒業後、KDD、モトローラ、ソニー、デルを経て、2008年、日産自動車(株)入社。主に海外営業、マーケティング、経営企画に従事。2015年~2017年、経済産業省出向。2017年10月より現職。2006年 IMD(スイス・ローザンヌ)経営学修士。多様な会社経験に加え、米国、シンガポール、スイスにおける駐在および留学生活により、多様な文化、価値観、働き方に接する。その経験を生かし、現職では経営戦略としてのダイバーシティとインクルージョンの浸透に注力している。私生活では二児の母。

## 分科会 2

2日目 9月12日(水) (12:40~13:50)

### 2 - A



**直井厚郎氏** オリックス(株) グループ人事・総務本部 副本部長兼総務部長

1993年 オリックス(株)に入社。浜松町支店、南大阪支店、水戸支店と法人向け金融サービスの支店営業。その後、仙台支店次長、不動産融資部第一チーム長などの営業職責者に従事。2010年 人事部人事チームに異動。2012年 人事チーム長 定年延長の制度設計から運用までを担当。2016年 グループ人事部長。2018年 グループ人事・総務本部 副本部長 兼総務部長。昨年はCEO直下の職場改革PJの管掌補佐として、PJを推進。リフレッシュ休暇奨励金制度・スーパーフレックス制度等の人事制度を新設し、今年は総務部長を兼務し、多様な人材の活躍を引出す新たなオフィス環境作りに注力中。

### 2 - B



**中村幸恵氏** (株)ファミリーマート 管理本部 ダイバーシティ推進部 部長

1998年サンクスアンドアソシエイツ(後のサークルKサンクス)中途入社。IR担当として、投資家・アナリスト取材対応やアニュアルレポート制作、HP管理等に13年間取り組む。2011年3月総務部長。2016年9月のファミリーマートとの経営統合後はCSR・コンプライアンス部を経て、2017年3月よりダイバーシティ推進部にてダイバーシティを推進。

## 分科会 3

2日目 9月12日(水) (14:10~15:20)

### 3 - A



**内田恵美氏** 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士

2017年7月までEY、デロイトトーマツのメンバーファームである弁護士法人に所属。公認会計士、税理士、コンサルタント等の他業種の専門家とも協働し、国内外の企業再編後の人事制度統合、賃金や年金制度の改定などを含め、幅広い人事労務案件を担当。労基署、労働局等の当局対応サポート、役員・従業員向けの企業研修講師も担当。2017年8月から渥美坂井法律事務所・外国法共同事業に所属。経営法曹会員弁護士。論文に「新たな時間外労働の上限規制と企業実務への影響」労政時報3934号(2017)、「同一労働同一賃金特集~法令・判例に見る非正規社員の合理的な処遇格差の考え方」労政時報3927号(2017)など。

### 3 - B



**安部慶喜氏** アビームコンサルティング(株) 戦略ビジネスユニット 執行役員 プリンシパル

幅広い業種における経営管理、業務改革、PMI及び事業計画策定等での実績を有す。特にRPA領域では、ABeamグローバルの専門チームの統括責任者として、100以上のクライアントでの1,000以上のロボット導入を指揮。日経産業新聞、週刊ダイヤモンド、日経ビジネスオンライン等の媒体への寄稿・インタビュー多数。主な著書「RPAの威力」(日経BP社)

## 特別講演

2日目 9月12日(水) (15:40~17:00)



**岸見一郎氏** 哲学者

1956年 京都生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程(西洋哲学史専攻)を満期退学。専門の哲学に並行して、アドラー心理学を研究。京都教育大学教育学部、甲南大学文学部、奈良女子大学文学部非常勤講師、京都聖カタリナ高等学校看護専攻科(心理学)非常勤講師などを歴任

著書『嫌われる勇氣』(古賀史健と共著、ダイヤモンド社)、『幸せになる勇氣』(古賀史健と共著、ダイヤモンド社)、『幸福の哲学』(講談社現代新書)、『成功ではなく、幸福について語ろう』(幻冬舎)、『愛とためらいの哲学』(PHP研究所)、その他、多数 訳書 アルフレッド・アドラー『人生の意味の心理学』(アルテ)、プラトン『ティマイオス・クリティアス』(白澤社)、その他、多数

## 開催要領

と き / 2018年9月11日(火)・12日(水)

と ころ / **メルパルク名古屋** 〒461-0004 名古屋市東区葵3-16-16  
TEL(052)937-3535 (案内状の裏表紙に詳細な地図がございます)

対 象 / 中部地域に所在する企業労使関係者(経営者、部門責任者、担当者、労組役員等)

参 加 費 / **33,480円** (資料代、消費税、2日目の昼食代を含む)

申込方法 / 次頁の参加申込書に必要事項(組織名、所属・役職、氏名等)をご記入の上、FAXにてお申し込み願います。

**分科会(1・2・3)について参加コースの希望(印)をそれぞれご記入下さい。**

お願い事項 / お申し込み受付後、次頁の参加申込 **1** の方宛へ、請求書、参加申込分の参加証をご送付いたします。参加費につきましては、9月10日(月)までに下記の指定銀行へお振込み願います。なお、参加費のお支払いの際に発生します振込手数料については、お客様にてご負担願います。

9月5日(水)以降の参加申し込みの取消の場合は、参加費の払戻しをいたしかねますのでご了承願います。

撮影・録画・録音はお断りいたします。

申し込み期限 / **2018年9月4日(火)**

口座名義：一般財団法人 中部生産性本部

振込銀行  
口座番号  
(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店	普通 No. 1603808	東海労働金庫本店営業部	当座 No. 513
愛知銀行本店営業部	当座 No. 2652	中京銀行本店営業部	当座 No. 112404
名古屋銀行上前津支店	当座 No. 3116132	りそな銀行名古屋支店	当座 No. 494096
大垣共立銀行名古屋支店	普通 No. 913545	岡崎信用金庫名古屋支店	普通 No. 9034377

### 個人情報の取り扱い

- 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。
- お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
- 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
- 本案内記載事項の無断転載をお断りします。

個人情報に関する問い合わせ窓口 担当 齋藤 TEL052-221-1261

### お問い合わせ

一般財団法人 **中部生産性本部** 《<http://www.cpc.or.jp>》

TEL(052)221-1261 FAX(052)221-1265

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階 担当：雲井・村田・上田

中部生産性会議 2018 参加申込書

フリガナ \_\_\_\_\_

組織名 \_\_\_\_\_  
 〒 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

TEL ( ) - FAX ( ) -

下記の通り参加申込みいたします。(請求書・参加証は申込者 **1** の方宛へお送りします)

記入例	部署名 役職名	人事部 部長	日程	9 / 12(水)					
	(フリガナ)	チュウブ タロウ	分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	氏名	中部 太郎	希望	○			○		○
E-mail	seisansei@cpc.or.jp								

【記入例】の通り、各分科会 1-(A・B)、2-(A・B)、3-(A・B)のご参加の希望( 印)をご記入願います。

			日程	9 / 12(水)					
1	部署名 役職名		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
		(フリガナ)		希望					
	氏名								
	E-mail								
2	部署名 役職名		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	(フリガナ)		希望						
	氏名								
	E-mail								
3	部署名 役職名		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	(フリガナ)		希望						
	氏名								
	E-mail								
4	部署名 役職名		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	(フリガナ)		希望						
	氏名								
	E-mail								
5	部署名 役職名		分科会	1-A	1-B	2-A	2-B	3-A	3-B
	(フリガナ)		希望						
	氏名								
	E-mail								

いずれかに  をお付け下さい。  申込み後の受取請求書にて振込み  事前振込み(請求書不要) 月 日振込予定

